

学校教育計画

4年間の目標と主な方策（令和2年度～令和5年度）

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラムマネジメントの視点を踏まえ、多様な生徒に弾力的に対応可能な教育課程を編成する。 ・学習意欲の高い生徒に対して、個別に支援できる体制をめざす。 ・言語活動の活性化、協働的な学びを展開し、確かな学力を育成する。 ・資格取得の推進に向けた工業科の指導體制を整備し、受検数及び合格率の向上をめざす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の学力、進路希望等に柔軟に対応できるよう、3学年に自由選択を導入し、きめ細かな学習指導を行える体制をつくる。 ・BYODの環境を生かし、ICTの活用や振り返りを重視した組織的な授業改善の取組を推進する。また、校内における研究授業の充実・改善を図る。 ・資格取得についての生徒及び保護者への動機づけを積極的に行うとともに、科を越えた指導體制を整備する。
2	(幼児・児童・) 生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的生活習慣の定着と生徒が主体的に社会のルールやマナーの意味を考える指導の充実を図るとともに、潜在的ニーズにも対応可能な教育相談体制を構築する。 ・生徒の学校への帰属意識を醸成させるため、学校行事の改善及び部活動を活性化させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導経過の可視化、指導プロセスの統一により、職員一丸となれる指導體制を構築する。 ・教育相談コーディネーターを核とした支援体制のもと、学級担任、SC、SSWとの連携し、生徒をサポートする。 ・生徒会役員が主体的に行動できるよう、環境を整備する。 ・部活動へ参加するメリットを明確に伝え、多くの生徒の参加を促すプランを検討する。
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育実践プログラムに基づき、学校として体系的な進路指導を行い、生徒の進路実現をサポートする。 ・建設科の生徒に対応した、進路先（大学、企業）の開拓を着実に進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育実践プログラムを見直し、教科・学年・学科の横断的な連携ができる体制を構築する。 ・建設科が設置されることを様々な機会を活用し、関係機関に周知する。
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と連携することを通して生徒のコミュニケーション能力の向上を図り、生徒の「生きる力」を育むとともに「共生」の意識を醸成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会を機能させ、小・中学校をはじめとした地域との連携を深める。具体的には、防災などの機会を生かし、課題研究や部活動を通して、工業高校だからこそできる「地域貢献」をテーマに掲げる。
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ・業務の効率化を図り、職員の働き方改革を推進する。 ・日常的に、事故・不祥事防止に係る研修会を実施し、職員に当事者意識を持たせるように努める。 ・職員の学校運営への参画意識の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用し、打合せや会議等におけるペーパーレス化を計画的に進めるとともに中堅及び若手の意見が反映するシステムを構築し、風通しの良い職場環境を目指す。 ・職員主体の事故・不祥事防止研修会を定期的実施する。

